

大腸菌由来の乳アルデヒド脱水素酵素、組換え型

Cat. No. NATE-1213

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、乳アルデヒド脱水素酵素（EC 1.2.1.22）は、次の化学反応を触媒する酵素です： $(S)\text{-乳アルデヒド} + \text{NAD}^+ + \text{H}_2\text{O} \leftrightarrow (S)\text{-乳酸} + \text{NADH} + 2 \text{H}^+$ 。この酵素の3つの基質は(S)-乳アルデヒド、NAD⁺、およびH₂Oであり、3つの生成物は(S)-乳酸、NADH、およびH⁺です。この酵素は、酸化還元酵素のファミリーに属し、特にNAD⁺またはNADP⁺を受容体として、ドナーのアルデヒドまたはオキソ基に作用するものです。

別名 E.C. 1.2.1.22; ラクターアルデヒドログナーゼ; L-ラクターアルデヒド; NAD酸化還元酵素; ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド (NAD) 連結デヒドロゲナーゼ; (S)-ラクターアルデヒド:NAD⁺ 酸化還元酵素

製品情報

由来	大腸菌
EC番号	EC 1.2.1.22
CAS登録番号	37250-90-1
分子量	53337.9 Da